

愛知県立
明和高等学校音楽科
音楽科案内 2022



Meiwa
High School
Music
Department

Guide Book 2022



響け、自分。

すべては未来に響く感性のために

昭和23年の学制改革により愛知県立明倫高等学校と愛知県立第一女子高等学校が統合され、愛知県立明和高等学校となりました。その2年後の昭和25年、音楽科が新設され、県立で唯一音楽科のある高校となりました。



音楽科主任 高橋 知子

明和高校音楽科は創立72年になります。この長い年月にどれだけ多くの『音楽家』たちが巣立っていったでしょうか。長い伝統を持つ音楽科の卒業生は、日本国内にとどまらず世界でも活躍しています。音楽の世界でグローバルに活躍する人が多いのは、楽譜は全世界共通で、言葉ができなくても音楽で会話することができるからだと思います。音楽に国境はないのです。

音楽科では専攻のレッスンはもちろんのこと、音楽理論、ソルフェージュ、演奏研究、アンサンブルなど様々な授業を通して、楽譜から音楽を読み取り、表現する力を身に付けることができます。そして学んだことを専攻実技試験や定期演奏会など演奏する経験を通して深めていくことができます。

高校3年間は驚くような成長を遂げることができる貴重な期間です。明和高校音楽科で素晴らしい仲間と共に自分らしく学び、世界に飛び立てる力を育てましょう。

未来に輝く感性を育てる大切な3年間を、私たちと一緒に過ごしませんか？

卒業生からのメッセージ



北村 朋幹

ベルリン芸術大学卒業
ピアニスト

どのような場所で過ごしたとしても、高校時代の3年間というのは人生に於いても最も重要な時期の1つでしょうし、そこで経験した全てのことはその後本格的にはじまる「独立した1人の人間」としての生活やその思考を、かなり直接的に作るような気がします。

音楽家というのはかなり特殊な人種で、仕事は基本的に一人きりでかなりの長時間、そこで向き合っているものは、何世紀も前にどこか遠い国の誰かが、個人的な感情を託して書き留めた記号の数々。確かに自分は世の中に存在しているはずだけれども、常にどこか違う世界に生きているようだと感じる事が多々あります。

いつの間にか卒業から10年も経った今、自分の明和高校音楽科での3年間を振り返ってみると、その特殊な人々が当たり前の世界の住人となる直前に、その言葉の最良の意味で「普通の」生活を送ることの出来た最後の良い時間でした。

音楽にまつわる思い出はその後の人生でも数多くありますが、なんてことのない、くだらないような、しかしふとした瞬間に真っ先に思い出するような出来事に溢れていました。

音楽には、表現している本人ですら気が付かないような、その人の本質があらわれます。

学んだことはさることながら、あの毎日の中で感じていた些細なあらゆる事が、今の自分の音楽をきっと彩ってくれているのだと思います。



亀居 優斗

東京藝術大学卒業
神奈川フィルハーモニー管弦楽団
首席奏者

音楽家になりたい。そんな志を持っている人には明和高等学校音楽科はととても充実した空間でしょう。経験豊富な先生方、充実したカリキュラムや練習環境…音楽科での学びの素晴らしさはたくさんありますが、私が一番良かったと思うことをあげるならば、それは音楽家を目指す“同志”に出会えたことです。管楽器専攻だと一般高校や吹奏楽部が盛んな高校に通い、音大に進学する人もたくさんいますが、明和高等学校音楽科ではピアノや弦楽器、声楽といった他の学校では出会うことのできない沢山の個性溢れる同志に出会うことができます。そんな彼らと3年間、切磋琢磨しあえたことで私は一人では知ることのできな

かった世界を知り、経験し、学ぶことができたかけがえのない三年間となり、今にも生きる大きな糧となりました。そしてそこで生まれた友情は生涯消えることのない大切な絆となるでしょう。音楽科での学校生活はこれから始まる音楽家人生の大事な一歩に繋がることだと思います。貴方も明和高等学校音楽科で音楽を奏でてみませんか？



梶田 真未

東京藝術大学卒業
桐朋学園大学博士課程1年
二期会会員

「将来、音楽家になりたい」

中学生の私はそんな風に漠然と考えていました。けれど、そのためにどんな風に頑張ったらいいのか、どうしたらいいのか、そもそも、音楽家とは何なのか？

何もわからなかった私に、音楽家としての心構えを示してくれたのが明和高校でした。

私は現在オペラ歌手として活動しているのですが、ひとえに歌うと言っても、家で歌うのと、大勢の人の前で歌うのでは大きな違いがあります。勿論、人前で歌う時は緊張しますし、所作や演技など、いつもより沢山気を付けることがあります。本番の練習として、明和高校では公開試験や定期演奏会など、人前で演奏する機会も沢山頂きました。

しかし、本当に大切なのは、それまでにどのように音楽に向き合い、本番で力を出せるように練習するか、ということでした。

明和高校で得た物は、一生の音楽仲間や、演奏技術、基礎知識、試験や演奏会での思い出など、本当に沢山ありますが、その中でも、音楽家としての芯の部分形成してくれたのは、そういった教えであり、先生方でした。

明和高校には沢山の素晴らしい音楽家たちが先生として教えに来てくれています。授業やレッスンでの指導は勿論ですが、音楽に向かう姿勢を間近で見ても、肌で感じる事が出来るのです。そして私たちが音楽家として成長させるために、日々試行錯誤し、より良い教育を提供できるよう考え、動いて下さっています。

文章やお話だけでは得られないものを、先生方の背中が、私に教えてくれたのです。

高校卒業後、何とか東京芸大に現役合格し、オペラ歌手になることが出来ました。昨年には、東京音楽コンクールという大きなコンクールで優勝することもできました。そして現在、日本2大オペラ団体の一つである二期会に所属し、オペラに出演したり、コンサートに出演する傍ら、桐朋学園大学の博士課程で論文を執筆しています。その全てに活動に、明和の教えが根付いています。

音楽家になるにはどうしたらいいだろう？どんな道があるのだろうか？そう悩んでいる皆さん、是非、わが母校、明和高校音楽科に来てみてください！本気で音楽と向き合える素晴らしい環境が待っています。

コンサート

毎年7月にサマーコンサート、12月に定期演奏会を行います。いずれの演奏会も、校内のオーディションによって選ばれた生徒が出演しますが、サマーコンサートはソロを主体とし、定期演奏会はソロに加えて、アンサンブルや音楽科全員が出演する合唱・合奏があります。

●本年度のコンサート

子どものためのわくわくコンサート2022 シリーズ7
 5月14日(土) 第一部 11:00開演、第二部 13:30開演
 名古屋市青少年文化センターアートピアホール
 第14回サマーコンサート(要申込)
 7月16日(土) 13:30開演
 三井住友海上しらかわホール
 第71回定期演奏会(要申込)
 12月10日(土) 時間未定
 三井住友海上しらかわホール

お申込方法

詳細は、
 本校ホームページを
 ご覧ください。

※定員になり次第締め切らせて
 いただきます。



公開講座

国内外から、一流の演奏家、音楽教育者を招いて公開レッスンや演奏を行います。
 また、校外のオペラやバレエ、能楽等の公演にも出かけています。

●レッスン

ピアノ…水本 雄三、神西 敦子、A. コックス、井内 澄子、橋本 英二、
 A.P. ロジェ、弘中 孝、松浦 豊明、ポト・レヘル、北住 淳、M. クリストフ、
 J.E. テイボーデ、R.M. ボーンケ、J.M. ルイサダ、K. カウフマン、A. ヤンシン、
 D. ヨッフエ、K. ドラフィ、R. ケラー、イムレ・ローマン、神谷 郁代、
 アンナ・マリコヴァ、ブルーノ・リグット、カルロス・ロドリゲス、中井恒仁、
 M. ヴォスクレセンスキー、エリック・ル・サージュ、菊池 裕介、海老 彰子、
 横山 幸雄、田村 響
 声楽…東 敦子、林 ひろみ
 フルート…カトリーヌ・カンタン
 邦楽講座…大久保 智子、渡辺 峨山
 (箏・三味線・尺八)
 オルガン講座…椎名 雄一郎
 文楽講座…竹本 三輪大夫、竹澤 団吾
 アンサンブル・伴奏法…三ツ石 潤司
 音楽家の為の運動療法…イザベル・カンピオン
 ソルフェージュ講座…マルク・ケネル
 交流会…オルフェウス室内管弦楽団



●演奏

ピアノ…H.G. ミルヴィス、井上 二葉、D. ヨッフエ、T. ハザイ、酒井 茜
 ピアノデュオ…テュンデ・クルツ、イムレ・ローマン
 ヴァイオリン…M. ヴァイマン、V. フデチェック
 チェンバロ…佐久間 緑
 クラリネット…武田 忠善
 打楽器アンサンブル…小田もゆると仲間たち
 声楽…E.M. ハザイ(ソプラノ)、望月 哲也(テノール)
 バロックダンス…浜中 康子
 能…「小鍛冶」「葵の上」喜多流/長田 驍(名古屋能楽堂)
 雅楽…天王寺楽所雅亮会(愛知芸術文化センター)
 文楽…冥途の飛脚、菅原伝授手習鑑 他(名古屋芸創センター)
 オペラ…「セヴィリヤの理髪師」「魔笛」「トスカ」「ラ・ボエーム」
 「トゥーランドット」(愛知芸術文化センター)
 「リゴレット」(愛知芸術文化センター)
 バレエ…「ル・パルク」(愛知芸術文化センター)
 歌舞伎…「仮名手本忠臣蔵」(御園座)
 「鐘ヶ岬」、「連獅子」(御園座)
 オペレッタ…「こうもり」(愛知芸術文化センター)
 文化庁助成 邦楽(長唄)鑑賞講座…福原 寛、味見 純 他
 バロックアンサンブル…長瀬 正典(リコーダー)、
 桐山 建志(バロックヴァイオリン) 他
 能楽体験および鑑賞…能「葵の上」、
 狂言「仏師」(名古屋能楽堂)



専攻実技試験

専攻実技試験は年に2回あり、2・3年の後期試験は広いホールでの演奏体験を増やすために、
 校外のホールを借りて行います。

教育課程表(令和4年度入学生)

	普通科目									専門科目							特別活動	
1年次	現代の国語 2	言語文化 2	地理総合 2	数学Ⅰ 3	体育 2	保健 1	英語 コミュニケーションⅠ 4	家庭基礎 2	楽典 2	音楽史 1	ソルフェージュ 4	専攻実技 1	必修副科 1	選択副科 1	合唱 2	総合的な探求の時間 HR1		
2年次	論理国語 2	古典探求 2	公共 2	科学と人間生活 2	体育 2	保健 1	英語 コミュニケーションⅡ 3	情報Ⅰ 2	和声法 2	音楽史 1	演奏研究 1	ソルフェージュ 4	専攻実技 1	必修副科 1	選択副科 1		合唱 2	重唱・重奏 1
3年次	論理国語 2	古典探求 2	歴史総合 2	物理基礎 2	体育 3		英語 コミュニケーションⅢ 4	論理・表現Ⅰ 2	音楽理論 1	鑑賞研究 1	演奏研究 1	ソルフェージュ 4	専攻実技 1	必修副科 1	選択副科 1		合唱 2	重唱・重奏 1

- 表の数字は単位数で1単位とは週1時間の授業です。
- 「大学入学共通テスト」にも対応できるように一般教科の授業も充実しています。
- カリキュラムは若干の変更を行うことがあります。
- 副科実技は必修副科(ピアノ専攻の人は声楽、それ以外の専攻の人はピアノを履修)と選択副科(専攻以外の管弦打和楽器や、ドイツ語、イタリア語から各自で選択履修)が1単位ずつです。
- ソルフェージュは視唱奏、聴音ともグレード別授業です。

音楽科専門授業体験記 ～生徒からのメッセージ(令和3年度生)～

▶専攻実技レッスン

〈ピアノ〉真剣に音楽を学びたいと思い入学して早1ヵ月。新たな学校生活にも慣れ、現在は音楽家を目指す新たな仲間と共に切磋琢磨しながら楽しい日々を送っています。音楽科に入って一番変化したことと言えばやはり専門科目が学べるのですが、その中でも週に一度の専攻のレッスンはとても重要な時間です。50分という短い時間ですが、先生はいつも音楽のことは勿論、腕や手首などの体の使い方や精神的なことまで細かく指導して下さいます。

少しでも良い音楽を、一音でも多く良い音を。常に高い理想を持ちながら先生と共に過ごす50分はとても幸せな時間です。

(1年/ピアノ専攻)

〈ピアノ〉週に1度の専攻レッスンは、私にとってとても大切で特別な時間です。先生の奏でるピアノの音色、響き、音楽は本当に魅力的で、刺激的です。終始エネルギッシュなレッスンの中で、自分の音楽に繋がるヒントを与えて下さいます。自分自身の未熟さを思い知らされる事も多々ありますが、もっと音楽を学びたい、追求したい、レッスンに行く度にそう強く思います。このような環境の中で音楽を学べることに常に感謝の気持ちを忘れず、これからも音楽の道を邁進したいです。

(3年/ピアノ専攻)

〈声楽〉1週間に1度しかないレッスンは、とても大切な時間です。基本である発声をはじめ、コンコーネ、歌曲、オペラアリアなどを学びます。声の出し方や正しい発音、その曲をどう表現するかなど、細かく指導して下さいます。私はいつも録音をし、それをもとに家で練習をしています。新しい曲の譜読みを、多い時は1週間で3曲する時もあります。大変だけど、できる限り仕上げ、次のレッスンが充実した50分になると、とても達成感があります。何でも相談出来る先生方や、お互いを高めあえるクラスメイトがいる環境で音楽を学ぶことができ、とても幸せです。

(2年/声楽専攻)

〈ヴァイオリン〉専攻のレッスンは1週間に1回50分と限られた時間ですが、短いながらも一番緊張する大切な授業です。レッスンを通じて先生の高い技術と素晴らしい感性を体感できることは、とても充実した時間であり私の明和高校生としての財産です。中学までは個人レッスンが中心で時には孤独を感じることもありましたが、明和高校に入学すると志を共にする仲間がいて大変勉強になります。充実した専攻レッ

スンと共に、仲間たちからの良い刺激は成長に繋がります。私はこの環境にとっても感謝しています。

(3年/ヴァイオリン専攻)

〈サクソフォン〉校内で専攻のレッスンを受けられることが明和高校音楽科の大きな魅力だと思っています。週1回のレッスンは4時間授業なので帰りが遅くなることもなく、その後の練習時間も確保することができます。憧れの先生のレッスンは今でも緊張しますが、毎回自分に合ったアプローチで丁寧に教えて頂けるので上達に繋がる楽しみな時間でもあります。時に行き詰まってしまうこともありますが、先生方が親身に相談に乗ってくださったり、クラスの仲間が励ましてくれるので乗り越えることができている。高校生という今しかない時間をこの学校で過ごせることを本当に幸せに思います。

(3年/サクソフォン専攻)

▶必修副科(ピアノ・声楽)

〈副科ピアノ〉副科ピアノは、ピアノ専攻以外の生徒が全員履修する科目です。グレードが10段階に分かれていて、曲の難易度が変わってきます。副科ピアノのレッスンは週に1回25分と限られていますが、専攻とは違った角度から音楽について考えることができ、とても大切な時間となっています。ピアノは管楽器と違い、一人で全ての声部を演奏しなくてはなりません。なので、和音の効果や調の雰囲気などはピアノを練習しているとよくわかります。私はこの副科ピアノを通して、横の流れだけではなく、縦の響きも意識できるようになりました。副科ピアノを学ぶことで、専攻実技の表現の幅を広げることができます。

(3年/オーボエ専攻)

〈副科声楽〉ピアノ専攻生の副科声楽は3年間あり、3年間を通して外国の歌曲や日本の歌曲を学びます。基本は1対1の個人レッスンなので、自分に合った曲・進捗で確実に成長していくことができます。試験では伴奏があります。ピアノの本番とは違い、他の楽器と合わせるという事を体験することが出来るので、より音楽への感受性が高くなると思います。声楽は一見旋律を重視していると思いがちですが、和音の変化によって音色も変化していくところが魅力です。和音を感じることは専攻に直結して効果があるので、真剣に取り組むほど成果となるのが実感できると思います。

(3年/ピアノ専攻)

▶選択副科

〈チェロ〉幅広い音楽に触れる機会を得られるのが、音楽科の何よりの

魅力であると感じます。元々市のジュニアオーケストラでチェロを習っていた私は、副科でチェロを選択し、温厚で素晴らしい先生の元で演奏技術の向上に励んでいます。様々な楽器を様々な角度から学ぶことは、専攻楽器の上達に直結しないはずがありません。専攻ではない楽器でも、良い設備や先生のもとで学べるのはこれ以上ない幸せな環境ではないでしょうか。

(2年 / ピアノ専攻)

〈チェンバロ〉チェンバロの時間は、私にとって自分の音楽観を深める大切な時間です。外見は鍵盤楽器なのでピアノに近いですが、ピアノとは全く「音色」も「奏法」も違っています。指のタッチや音の切り方、装飾音、各声部への意識など…普段現代のピアノに触れている私には同じようで全然違うチェンバロは少し難しく感じます。ですがバロック時代の歴史や特徴もまるでその時代にいるように感じられます。チェンバロを学んだことで自分の音楽が前よりも広がっていく感覚があります。是非専攻の楽器以外にもこのような楽器に触れてみて欲しいです。今まで見えていなかった音楽が見えてきますよ。

(3年 / ピアノ専攻)

〈作曲〉作曲に対して「大変そう」や「難しいな」と感じる方はいるかもしれませんが、でも違うのです。作曲は「自由」なんです！音に想いをのせたり、想いに音をのせたり、自分の中にある感性で一から音楽を作りあげることができます。そしてその曲は、世界にたった一つしかないのです。作曲の授業では、和声や即興について学びます。私達が普段弾いている既存の曲でも、こうした和声進行などがたくさん使われています。作曲を勉強することによって、ただ楽譜を見るだけでなく、和音の使われ方、流れがもっと美しく鮮明に聴こえてきます。自由に音楽を奏することができて、もっと深い音楽を感じるすることができます。曲を作ることはとても楽しいことだと、私は思います。

だからみんな、作ろう！曲を！

(卒業生 / ピアノ専攻)

〈打楽器〉明和高校では自分の専攻以外の楽器を学ぶことができます。私は2年生の時から打楽器のレッスンを受けています。今まで触れたことなかった打楽器をプロの先生に教えていただき、自分の中の音楽の幅が広がったように思います。基礎的な部分から丁寧に教えてくださり、毎回とても楽しいです。この副科で打楽器を学ぶことにより、吹奏楽やオーケストラで打楽器を強く意識するようになり、打楽器を選択して良かったと思います。他にも、自分の専攻におけるリズムや音価など自分にとって大きな学びになっています。

(卒業生 / クラリネット専攻)

〈和楽器・箏〉箏のレッスンでは、基礎から細かく丁寧に教えてくださいます。1年生の最初はさくらから始まり、そして3年生では六段の調までやります。私自身、高校入学までに箏を演奏したことはありませんでしたが、先生のレッスンのおかげで、苦労しながらも一つ一つの曲を弾くことができます。普段は、専攻の楽器を頑張っていると思いますが、他の楽器に触れるというのもとてもいい経験です。特に、和楽器が身近にある人は少ないと思います。ぜひ箏を演奏してみませんか。

(3年 / ピアノ専攻)

〈言語音声トレーニング〉イタリア語・ドイツ語の2言語から選択でき、現地出身の先生と挨拶や会話、文法内容を中心にテキストを使いながら勉強をします。先生は、分からないことがあっても一つ一つ分かるまで丁寧に教えてくださったり、授業時間外でも質問に答えてくださったり、とても優しく親切です。勉強していくうちに理解できることが増え、喜びと楽しさを感じることができます。同じ言語を最大で2年間履修することができるので、基礎から応用まで学ぶことができます。そして、習ったことを実技や普段の生活の中でも活かすことができるので、語学の履修はとてもいい経験になると思います。

(3年 / ピアノ専攻)

▶ 音楽理論

音楽理論の授業では、1年生は楽典、2年生は和声、3年生は対位法を履修します。楽典の授業では、音階や和音といった音楽の基礎的な知識を学びます。音楽家を志す私たちにとって、最も大切な授業です。和声や対位法の授業では、自分たちの音楽をより豊かにするための知識について、和音や、旋律の観点から深く掘り下げて考える授業が展開されています。

先生方は優しく丁寧に教えてくださるので、過去に音楽理論を学んだことのない生徒でも楽しく知識を身につけることができます。

(卒業生 / ピアノ専攻)

▶ ソルフェージュ

みなさんは週合計4時間のソルフェージュ（聴音と視唱奏）で、音楽の何を勉強する科目だと思いますか？私は、ソルフェージュは直接音楽に関係するかとするとそうでもないと思っています。ですが間接的に関わって、音楽を表現する時、私たちの中になくはならない、勉強で言えば知識のような、音楽という壺の中に溜まっていくものだと考えています。ソルフェージュはやればやるほど成果が出て、楽しい教科です！何を勉強する科目なのか、正解はソルフェージュの授業を受けて考えてみてください！

(3年生 / ピアノ専攻)

▶ 音楽史

音楽史を学ぶことは、演奏者にとってとても大切なことです。この曲はどんな時代に生まれたのか？どのような人から生まれたのか？感性に加えてこのような視点から作品を理解することは、音楽により近づき、本当の魅力を伝えるための鍵になります。これからこの場所で音楽を学ぶことを考えている皆さん、作曲者のこと、音楽の歴史のこと、ぜひ自ら進んで知ろうとしてみてください。そして沢山の曲を聴き、素晴らしい音楽に多く触れてみてください。実技だけでなく色々な面から音楽を学ぶことが、きっと演奏へとつながると思います。

(3年 / ピアノ専攻)

▶ 重唱奏

音楽科は自分のメインの専攻楽器をソロで演奏することを基本としていますが、それとは別に、他の人と一緒に1つの音楽を作り上げていくことを授業でやっています。その1つが重唱奏です。ピアノ専攻の人は連弾や2台ピアノ、声楽や管弦打楽器専攻の人たちはアンサンブルやカルテットといったものを行います。自分と同じ楽器の人と一緒に1つの音楽を作り上げるということをしていくので、重唱奏ならではの発見があります。この授業は絶対に自分のソロの演奏へと直結するので、僕にとってはすごく大切な授業です。

(3年 / ヴァイオリン専攻)

▶ 合唱

音楽科の定期演奏会で披露する合唱は、1年生から3年生のピアノ専攻と声楽専攻の専攻者約90名で演奏します。今はコロナ禍なので学年ごとに別れて練習をしていますが、学年ごとにそれぞれの魅力があって1曲1曲がとても特別で美しいです。今年もまた学年別の合唱になってしまうかもしれませんが、少しでも心が温まってくればいいな、感動していただけたらいいなと思いつつ歌います。ぜひ定期演奏会を聴きにきてください！

(3年 / 声楽専攻)

▶ 合奏

12月の定期演奏会に向けて管楽合奏と弦楽合奏に分かれ、授業をしています。普段は週に一度の授業ですが、定期演奏会前になると特別練習があります。練習を重ねる度に全体の響きが変化していき、その中でアンサンブルをすることの喜びを味わうことができます。そして、先生方や仲間からも多くの学びを得られる非常に充実した時間です。

(3年 / ヴァイオリン専攻)

▶ 演奏研究

演奏研究の授業では、色々な作曲家の曲を分析したり、普段自分達が演奏する作品に対して、あらゆる角度から考察・探究し、疑問に思った事を調べ、みんなで発表し合います。また、作曲された当時の世界情勢を調べ、作曲家と同じ時代に生きていた画家や彫刻家など、他ジャンルで活躍した人についても勉強したりします。こうした学びを自分の演奏に活かして、より奥深く感じ、良い演奏を目指します。

(3年 / ピアノ専攻)

▶ 公開講座

公開講座では、プロの方を学校にお招きして演奏やお話を聴いたり、数名の生徒が代表してレッスンを受けたりするだけでなく、校外に向いてオペラや能楽などの公演を見に行ったりもします。私は公開レッスンを受けさせて頂く、という貴重な機会を頂き、自分の演奏に足りていなかったことを知り、今までの自分とは違った新たな視点から曲をみることができました。普段の授業やレッスンでは学べないような新たなものをみて、聴いて、感じることができ、音楽を志す人にとって、とても有意義な時間になります。

(3年 / ピアノ専攻)

音楽科説明会

ウィルあいちにて音楽科の教育方針や授業の様子、入試の概要について説明します。同日、音楽棟の見学も可能です。

令和4年度は7月10日(日) 詳細は説明会チラシ、またはホームページをご覧ください。

入試について ～令和5年度から入試制度が変わります～

出願資格と手続

1. 中学校を卒業した者、及び令和5年3月中学校卒業見込の者。
2. 原則として保護者とともに県内に住所を有する者。
3. 令和5年度出願手続は、愛知県教育委員会から発表される、令和5年度「愛知県公立高等学校入学者選抜実施要項」を参照し、さらに本校の発行する、令和5年度「明和高等学校音楽科特別選抜実施要項」を取り寄せて内容を熟読すること。(例年11月下旬～12月初旬に発行される)

*実施要項の発行、入試の日程等は、本校HPで確認できます。

専攻別検査令和4年度実施例(参考)

※内容は変更されることがあるので、詳しくは7月中旬以降に愛知県教育委員会のHPを参照のこと。

募集人員 40名 専攻別定員は設けない

1. ピアノ専攻志望者

- (ア) ピアノソナタ(第1楽章又は終楽章)作曲者の限定はしない
- (イ) 練習曲 チェルニー 40番 CZERNY Kunst der Fingerfertigkeit Op.299
チェルニー 50番 CZERNY Kunst der Fingerfertigkeit Op.740
クラマー=ビューロー 60の練習曲
CRAMER=BÜLOW 60 ausgewählte Etüden
モシコフスキー 15の練習曲
MOSZKOWSKI 15 Études de Virtuosité Op.72
- 上記(ア)、(イ)について、それぞれ任意の1曲を暗譜演奏する。 **一般選抜** **推薦選抜**
- (ウ) J.S. バッハ 平均律クラヴィーア曲集より フーガ **推薦選抜**
J.S.BACH Das Wohltemperierte Klavier(Fuga)任意の1曲を暗譜演奏する。

2. 声楽専攻志望者

- (ア) コンコーネ 50番 **一般選抜** **推薦選抜**
CONCONE 50 Lessons Op.9
任意の1曲を母音唱で暗譜演奏する。(高声用と中声用のいずれでもよい)
- (イ) 任意の独唱曲1曲を暗譜演奏する。 **一般選抜** **推薦選抜**
- (ウ) 任意のピアノ曲1曲を演奏する。 **推薦選抜**

3. 弦・管・打楽器専攻志望者

- (ア) 任意の独奏曲1曲を暗譜演奏する。 **一般選抜** **推薦選抜**
- (イ) 音階又は基礎打ち **推薦選抜**
音階については、譜面上 #、b それぞれ2つまでの長短調を課題とし、当該高等学校長が定める特別検査(音楽科)実施要項による。
- (ウ) 任意のピアノ曲1曲を演奏する。 **推薦選抜**
- *注1…弦・管楽器については、通常オーケストラに使用する楽器に限定する。打楽器については、小太鼓又は、マリンバに限定する。

聴音及び新曲視唱

一般選抜 **推薦選抜**

※内容は変更されることがあるので、詳しくは7月中旬以降に愛知県教育委員会のHPを参照のこと。

旋律聴音、和声聴音(四声体による)及び新曲視唱を行う。

一般選抜、推薦選抜ともに、同一の検査内容とする。

その他に、学力試験、面接が実施される。

専攻別生徒数

	声 楽		鍵盤楽器		弦楽器		管打楽器		合 計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
1年	2	2	3	16	0	1	2	8	7	27	34
2年	0	5	4	20	0	1	0	10	4	36	40
3年	0	3	2	25	0	0	1	5	3	33	36
合計	2	10	9	61	0	2	3	23	14	96	110
	12		70		2		26				

施設・設備

第1演奏室、第2演奏室、オーディオ理論室、普通音楽室、資料室、楽器庫、レッスン室(14)、ピアノ練習室(15)、アンサンブル練習室(1)、コンサートグランドピアノ(スタインウェイ)(4)、グランドピアノ(36)、アップライトピアノ(8)、パイプオルガン練習用電子オルガン、フレンチダブルマニユアルハーブシコード(アトリエ・フォン・ナーゲル社製)、合奏弦楽器一式、ソルフェージュ用キーボード(21)、コンサートマリimba(2)、ティンパニ、その他打楽器、箏(4)

最近の大学入試合格者数状況

大学名	平成29年	平成30年	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年
東京芸術大学	2	6	4	4	4	1
愛知県立芸術大学	9	16	8	9	14	19
京都市立芸術大学	0	0	0	0	1	0
その他の国立大学	0	0	0	2	1	1
桐朋学園大学	5	6	5	4	7	6
東京音楽大学	10	6	9	1	5	2
国立音楽大学	2	0	3	2	3	1
昭和音楽大学	0	0	1	2	2	0
武蔵野音楽大学	1	0	0	0	1	0
名古屋音楽大学	11	10	9	10	9	16
名古屋芸術大学	3	0	3	2	3	4
金城学院大学	4	13	8	10	8	3
その他	3	4	4	4	7	2
海外留学	0	2	2	0	0	0

音楽科教員

校長 小島 寿文

音楽科担当教職員

●専任



主任/ピアノ
高橋 知子



音楽学
齋藤 大輔



ピアノ
鈴木 乃維



声楽
谷津理恵子



サクソフォン
堀江 裕介



声 楽
吉田早千穂

●非常勤講師

ピアノ	伊藤 美江	岩野めぐみ	ヴァイオリン	市川絵理子	西村 洋美	打楽器	和泉 正憲	香名 大地
	梅田 智也	奥村 真		野田 枝里	横田真規子	箏	大久保智子	
	尾関 佳奈	兼松 千里	チェロ	石橋 隆弘	星野 順一	ソルフェージュ	奥村百合名	河野 恭子
	児玉 典子	清水 敦子	コントラバス	榊原 利修			櫻井ゆかり	鈴木 真衣
	清水 皇樹	鈴木真貴子	合 唱	神田 豊壽			田島知佐子	柘植 暁子
	関本 昌平	柘植 暁子	合 奏	石橋 隆弘	石橋 玲子		福井 友香	
	都築 美佳	戸谷 誠子		榊原 利修		作 曲	栗本 洋子	櫻井ゆかり
	中根 浩晶	西 典代	フルート	大西 圭子	竹内 梓	理 論	河野 恭子	西尾 洋
	丹羽つね子	長谷川 淳		辺見 亜矢		演奏研究	鈴木 美香	福井 友香
	廣澤 純子	広野 和子	オーボエ	寺島 陽介		ドイツ語	フランク・シェーファー	
	松本 和将	宮田 俊雄	クラリネット	橋本 眞介		イタリア語	ブドック・アナスタージャ	
チェンバロ	鈴木 美香		トロンボーン	藤澤 伸行				
声 楽	江塚由佳子	荻野砂和子	ファゴット	大津 敦				
	勝野恵美子	神田 豊壽	サクソフォン	片田 景子				
	平康 悦子	福井 友香	トランペット	宮本 弦				

音楽科の1年

- 4月** 入学式
始業式
- 5月** 14日(土) 子どものためのわくわくコンサート
遠足(1、3年)楽器博物館見学 (名古屋市青少年文化センター
アートピアホール)
修学旅行(2年)山陽・山陰方面
- 6月** 定期考査
公開レッスン
専攻実技試験(サマーコンサートオーディション)
- 7月** 10日(日) 音楽科説明会(ウィルあいち)
16日(土) サマーコンサート(三井住友海上しらかわホール)
- 8月** 夏季特別レッスン
- 9月** 学校祭
美術展鑑賞
- 10月** 定期考査
27日(木) SSH記念講演会
公開講座
- 11月** 16日(水) 定期演奏会公開オーディション
定期考査～12月 (電気文化会館 ザ・コンサートホール)
- 12月** 10日(土) 第71回定期演奏会(三井住友海上しらかわホール)
- 1月** 1年専攻実技試験(校内)
25日(水) 2年公開専攻実技試験(電気文化会館 ザ・コンサートホール)
27日(金) 3年公開専攻実技試験(三井住友海上しらかわホール)
- 2月** 1、2年定期考査
- 3月** 3日(金) 卒業式
終業式



入学式 (2022)



遠足 (2020)



音楽科70回記念定期演奏会 (2021)



慰問演奏 (2019)



子どものためのわくわくコンサート～配信～ (2021)

コンクール実績

- 第72回 全日本学生音楽コンクール
声楽部門 高校の部 第1位 前田ひより
- 第73回 全日本学生音楽コンクール
ヴァイオリン部門 高校の部 第2位 福場 桜子
- 第74回 全日本学生音楽コンクール
フルート部門 高校の部 第2位 石原 葵加 他多数

愛知県立 明和高等学校

〒461-0011 名古屋市東区白壁二丁目32番6号
TEL: 052-961-2551 FAX: 052-953-6348
ホームページ <https://meiwa-h.aichi-c.ed.jp/>
e-mail ongakuka@meiwa-h.aichi-c.ed.jp

アクセス
 ◎名鉄・瀬戸線「東大手」県庁・市役所方面出口から東へ徒歩約1分
 ◎名古屋市営地下鉄・名城線「市役所」1番出口から東へ徒歩約5分
 ◎名古屋市営バス「市役所」、「清水口」または「明和高校前」下車

